FUJIFILM
Value from Innovation

クラウド接続
接続先サービス初期設定手順書（AWS）

＜まえがき＞

1. 本書の位置づけ

本書は、beat クラウド接続サービスをご契約になっているお客様を対象に、Amazon Web Services（以下、AWS といいます。）側にて必要となる、ポリシーと IAM ユーザーの設定手順、また、beat-box での設定時に使用する情報の取得手順をご案内するものです。

2. 前提条件

本書でご案内している手順は、AWS に AWS マネジメントコンソールを操作できるお客様ご自身のアカウントをお持ちであることを前提としております。

また、本書は、beat クラウド接続サービスをご利用になるために必要なポリシーと IAM ユーザーの作成方法についてはご案内しておりますが、クラウド接続先の VPC の作成や、その他の AWS 初期設定については、あらかじめお客様ご自身で実施していただく必要があります。

3. 注意制限事項

本手順書内の AWS マネジメントコンソール画面は、2026 年 7 月 8 日時点のものを使用しております。以降に AWS の仕様が変更された場合、項目名やレイアウトが異なる可能性がありますのでご注意ください。また、AWS の公式ウェブサイトでも各設定手順がご覧になれます。

4. 商標について

＜目次＞

1. クラウド接続の利用開始までの設定

1.1. はじめに

「beat クラウド接続サービス」は、beat-box とパブリッククラウドサービス内の仮想プライベートネットワークとの間を VPN で接続するサービスです。

本サービスをご利用になるために、AWS の設定と beat-box の設定をお客様に実施していただく必要があります。本書では、お客様に実施していただく設定のうち、AWS マネジメントコンソール上で行う設定の手順についてご案内しております。

1.2. クラウド接続利用開始までの設定フロー

お客様に実施していただく作業のフローは以下のとおりです。
なお、下の図にて示している所要時間は目安であり、お客様の環境により異なります。

本書でご案内する設定手順の範囲

AWS上の設定

1. ポリシーの作成（所要時間：10 分程度）

ポリシーとは、AWS 上のサービスやリソースに対して、どのような権限を付与するかを定義したものです。
ポリシーを IAM ユーザーやユーザーグループなどに関連付けることによって、各ユーザーやグループなどにアクセス許可を設定することができます。
beat クラウド接続サービスをご利用になるためには、beat 推奨の設定がなされたポリシーを作成していただく必要があります。

2. IAM ユーザーの作成（所要時間：10 分程度）

beat 推奨の設定で作成したポリシーを関連付けた IAM ユーザーを作成し、接続に必要な「アクセスキーID」と「シークレットアクセスキー」を発行します。

ここで発行される「アクセスキーID」「シークレットアクセスキー」は、beat-box との接続設定を行う際に必要となりますので、必ず控えておくようにしてください。

beatの設定

3. beat-box との接続設定（所要時間：20 分程度）

AWS 上で IAM ユーザーの作成が完了したら、beat の設定ページでプライベートクラウドとの接続設定を行います。
beat-box と接続し、beat 設定ページ（http://beat-box:8080/）にアクセスしてください。
beat の設定ページで行う手順の詳細については、「クラウド接続 beat-box 設定手順書（AWS）」をご参照ください。
「クラウド接続 beat-box 設定手順書（AWS）」は、以下のページに掲載しています。
https://www.fujifilm.com/fb/support/service/beat/common/manual/cloud.html

クラウド接続利用開始

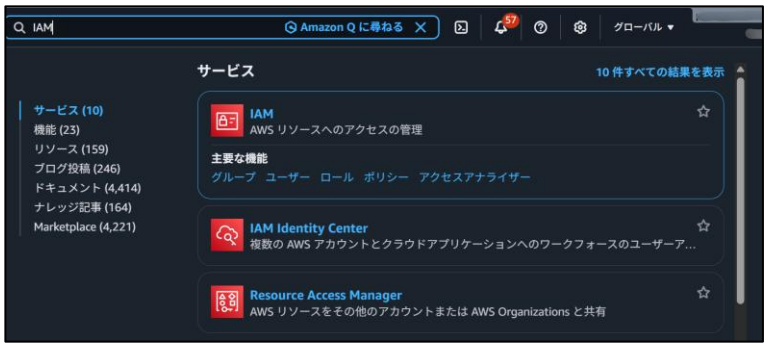
2. ポリシーの作成手順

beat サービスと接続するためのポリシーを作成します。

1. AWS マネジメントコンソールにログインします。
   以下の URL にアクセスし、お持ちのアカウントで AWS マネジメントコンソールにログインしてください。

   https://aws.amazon.com/jp/

2. AWS マネジメントコンソールのトップ画面が表示されます。
   画面上部の検索バーにて[IAM]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補を選択してください。



3. Identity and Access Management (IAM) の画面が表示されます。
   画面左部のサイドバーから、[ポリシー]をクリックしてください。

4. ポリシーの一覧が表示されます。
   画面上部の[ポリシーの作成]をクリックしてください。

5. ポリシーの作成画面が表示されます。
   [JSON]タブをクリックして、ポリシーエディタを[ビジュアル]から[JSON]に変更してください。

6. JSON を入力するエディタが表示されます。
   あらかじめ入力されている JSON を全て削除してください。

7. 以下の JSON をコピーし、テキスト入力エリアに貼り付けてください。

```
{
        "Version": "2012-10-17",
        "Statement": [
        {
                "Sid": "VisualEditor0",
                "Effect": "Allow",
                "Action": [
                        "ec2:AttachVpnGateway",
                        "ec2:CreateCustomerGateway",
                        "ec2:CreateTags",
                        "ec2:CreateVpnConnection",
                        "ec2:CreateVpnGateway",
                        "ec2:DescribeCustomerGateways",
                        "ec2:DescribeRouteTables",
                        "ec2:DescribeVpnConnections",
                        "ec2:DescribeVpnGateways",
                        "ec2:DeleteCustomerGateway",
                        "ec2:DeleteVpnConnection",
                        "ec2:DeleteVpnGateway",
                        "ec2:DetachVpnGateway",
                        "ec2:DisableVgwRoutePropagation",
                        "ec2:EnableVgwRoutePropagation",
                        "iam:GetUser",
                        "iam:SimulatePrincipalPolicy"
                ],
                "Resource": "*"
        }
        ]
}
```

8. [次へ]をクリックしてください。

9. 設定したポリシーの確認画面が表示されます。
任意のポリシー名を入力して、[ポリシーの作成]をクリックしてください。
[説明 - オプション]や[タグを追加 - オプション]など、ポリシー名以外は入力不要です。

   ※ ポリシー名は任意の名前をご利用いただけますが、beat サービス独自の設定となるため、
   beat での利用とわかるように設定していただくことを推奨します。
   例）beat_connect、beat_cloud_connect 等

10. 「(ポリシー名)が作成されました。」と表示されたら、ポリシーの作成は完了です。
作成したポリシーは IAM ユーザー作成時に使用するため、ポリシー名を控えておいてください。

以上で、ポリシーの作成は完了です。続いて、IAM ユーザーの作成を行ってください。

3. IAM ユーザーの作成手順

クラウド接続で利用する IAM ユーザーを作成します。
作成したユーザーに「2.ポリシーの作成手順」で準備したポリシーを適用します。

本手順は、beat クラウド接続サービスを利用するためのポリシー作成が完了していることを前提としています。ポリシーの作成が完了していない場合は、「2.ポリシーの作成手順」を参照し、ポリシー作成を行ってください。

1. Identity and Access Management (IAM)の画面で、画面左部のサイドバーから[IAM ユーザー]をクリックしてください。

2. IAM ユーザーの一覧が表示されます。
   画面上部の[ユーザーを作成]をクリックしてください。

3. IAM ユーザーの作成画面が表示されます。
   任意のユーザー名を入力して、[次へ]をクリックしてください。
   [AWS マネジメントコンソールへのユーザーアクセスを提供する - オプション]にチェックを入れると、コンソールログイン用パスワードが発行されます。

4. アクセス許可の設定する画面が表示されます。
[ポリシーを直接アタッチする]を選択して、「2.ポリシーの作成手順」で作成したポリシーにチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。

5. 内容を確認する画面が表示されます。
「ユーザー名」が設定したものになっていること、アタッチされるポリシーが「2.ポリシーの作成手順」で作成したものであることをご確認のうえ、[ユーザーの作成]をクリックしてください。

6. ユーザー作成が完了後に、メッセージが表示されます。

4. アクセスキーの作成手順

クラウド接続で利用するアクセスキーID とシークレットアクセスキーを作成します。

本手順は、beat クラウド接続サービスを利用するための IAM ユーザー作成が完了していることを前提としています。IAM ユーザーの作成が完了していない場合は、「3.IAM ユーザーの作成手順」を参照し、ポリシー作成を行ってください。

1. Identity and Access Management (IAM)の画面で、画面左部のサイドバーから[IAM ユーザー]をクリックして、「3.IAM ユーザーの作成手順」で作成したユーザー名を選択してください。

2. IAM ユーザーの管理画面が表示されます。
[セキュリティ認証情報]タブを開いて、アクセスキーの設定フォーム内の[アクセスキーを作成]をクリックしてください。

3. アクセスキーの作成画面が表示されます。
ユースケースは、[コマンドラインインターフェース (CLI)]を選択して、
[上記のレコメンデーションを理解し、アクセスキーを作成します。]にチェックを入れて、
[次へ]をクリックしてください。

4. 説明タグの入力画面が表示されます。
説明タグは入力不要です。[アクセスキーを作成]をクリックしてください。

5. アクセスキーの作成完了画面が表示されます。
本画面で表示される「アクセスキーID」と「シークレットアクセスキー」は、以降の設定で必要となります。「メモ帳」などのテキストファイルにコピー＆ペーストで保存しておくか、[.csv のダウンロード]をクリックし、csv ファイルを保存しておいてください。

注意

IAM ユーザー作成の成功画面で発行される「アクセスキーID」と「シークレットアクセスキー」は、beat-box の設定画面で設定を行う際に必要となります。
もし忘れてしまった場合は、アクセスキーを作成し直す必要があります。

6. [.csv のダウンロード]から csv ファイルを保存していない場合、警告画面が表示されます。
「アクセスキーID」と「シークレットアクセスキー」のメモを控えている場合は、[続行]をクリックしてください。

以上で、AWS マネジメントコンソールで行う設定は完了です。

beat-box の設定を行うためには、アクセスキーID とシークレットアクセスキーに加え、VPC ID や VPC CIDR ブロックアドレスなどの情報が必要になります。

ご自身の VPC ID 等の確認方法が分からない場合は、「5.beat-box の設定に必要な情報取得手順」を実施のうえ、beat-box との接続設定を行ってください。

5. beat-box の設定に必要な情報取得手順

beat-box との接続設定では、AWS の設定情報が必要になります。
入力が必要な情報は、AWS マネジメントコンソールで確認できます。

本章では、以下 4 項目の確認手順をご案内します。既に情報をお持ちの場合は、beat-box との接続設定に進んでください。

- VPC ID
- VPC CIDR ブロックアドレス
- アクセスキーID
- シークレットアクセスキー

5.1. VPC ID、VPC CIDR ブロックアドレスの確認方法

1. 画面上部にある検索バーにて[VPC]と入力してください。
   検索バーの下に表示される検索候補を選択してください。

2. VPC サービスのトップ画面が表示されます。
   画面左部のサイドバーから、[お使いの VPC]をクリックしてください。

3. VPC の一覧が表示されます。
   VPC ID を確認したい VPC を選択すると、画面下部に VPC の情報が表示されます。
   VPC CIDR ブロックアドレスは、IPv4 CIDR の値をご確認ください。
   VPC ID と、VPC CIDR ブロックアドレスを確認し、「メモ帳」などのテキストファイルにコピー＆ペーストで保存しておいてください。

以上で、VPC ID、VPC CIDR ブロックアドレスの確認は完了です。

5.2. アクセスキーID とシークレットアクセスキーの確認方法

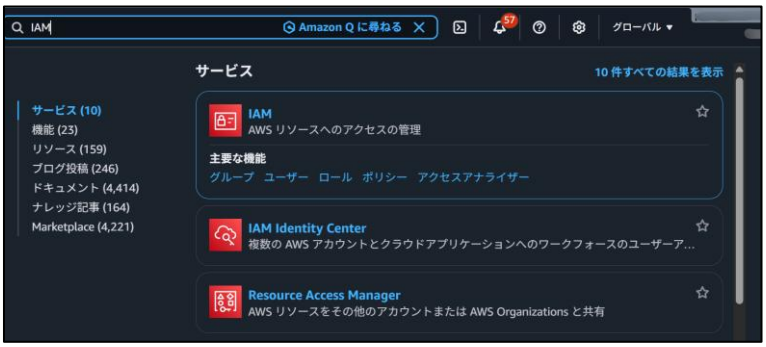
アクセスキーID とシークレットアクセスキーは、「4.アクセスキーの作成手順」が完了した際に発行される情報です。

本手順では、アクセスキーの作成時にメモに控えるのを忘れてしまった場合の確認方法をご案内します。

アクセスキーID のみを忘れてしまった場合は、認証情報の画面から再確認できます。
手順の 1～4 を実施してください。

シークレットアクセスキーを忘れてしまった場合は、アクセスキーID を作成し直し、新しいアクセスキーID とシークレットアクセスキーを再発行する必要があります。
手順の 1～5 を実施してください。

1. 画面上部にある検索バーにて[IAM]と入力してください。
   検索バーの下に表示される検索候補を選択してください。



2. Identity and Access Management (IAM) の画面が表示されます。
   画面左部のサイドバーから、[IAM ユーザー]をクリックしてください。

3. IAM ユーザーの一覧が表示されます。
   アクセスキーID またはシークレットアクセスキーを確認したいユーザーをクリックしてください。

4. IAM ユーザーの管理画面が表示されます。
   アクセスキーID は、アクセスキー1 の値をご確認ください。
   アクセスキーID を確認し、「メモ帳」などのテキストファイルにコピー＆ペーストで保存しておいてください。

以上で、アクセスキーID の確認は完了です。

シークレットアクセスキーを忘れてしまい再発行したい場合は、手順５以降の操作を実施し、アクセスキーIDの再発行を行ってください。
その場合、アクセスキーIDも作成し直したものを使用します。

注意

アクセスキーIDとシークレットアクセスキーは、IDとパスワードのように、対で使用する情報です。
シークレットアクセスキーを忘れてしまった場合は、アクセスキーIDを作成し直し、**作成し直したアクセスキーIDと、作成し直した際に再発行されたシークレットアクセスキーを対で控えておくようにしてください。**

5. シークレットアクセスキーを再発行するためには、アクセスキーIDを作成し直す必要があります。
「4.アクセスキーの作成手順」に沿って、アクセスキーを再度作成してください。

注意

アクセスキーの作成上限は２つまでです。
既に２つ作成してしまっている場合は、不要なアクセスキーを削除したうえで再度操作を行ってください。

アクセスキーは、右側の[×]をクリックすることにより削除できます。

以上で、アクセスキーIDとシークレットアクセスキーの確認は完了です。

続いて、beat-boxの設定を行ってください。

beat-boxでの設定方法については、以下のページに手順書を掲載しています。
https://www.fujifilm.com/fb/support/service/beat/common/manual/cloud.html

クラウド接続 接続先サービス初期設定手順書（AWS）

著作者 ― 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
発行者 ― 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月 ― 2019年 4月　初版
2020年 1月　第2版
2020年 11月　第3版
2021年 7月　第4版
2026年7月　第5版